

# 手術支援ロボットの導入について

## 1 手術支援ロボット概要

腹腔鏡手術をロボット支援下で行うシステム

機器は、ロボット本体、操作台、助手用モニターで構成され、術者は、操作台の3Dモニターを見ながらコントローラーを操作し、ロボット本体のアームに遠隔で動きを伝える。

これまでの腹腔鏡手術と比較し、患者さんへの侵襲が少なく、複雑で細かな手術が可能となる。



左：助手用モニター「ビジョンカート」  
 中：ロボット本体「ペイシェントカート」  
 右：操作台「サージョンコンソール」

## 2 対象術野 前立腺、腎、直腸の悪性腫瘍など

## 3 予算 588,000,000 円（リース契約7年間）

## 4 スケジュール（予定）

R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
● 1/27 契約締結			● ダビンチ・手術台納品				
			← 周辺機器納品・電気工事・研修・トレーニング →				● 手術開始

### 【デモンストレーション】

日時 令和4年11月14日（月）8時30分～20時  
 場所 市立病院A棟2階会議室



本体 アーム(鉗子)

操作台 コントローラー